



## 個人情報保護方針

### 1.基本方針

一般社団法人フォーシーズンかがやき「以下、当法人という」は、個人情報を保護し、その信頼を確保することに社会的責務を負っています。したがって、役員およびスタッフは、個人情報保護に関する法令等を遵守し、当法人の保有する個人情報資産を適切に取扱わなければなりません。個人情報の漏洩、改ざん、紛失、不正に利用する行為や許可なく開示する等の行為は、信頼を失い、当法人に損害も与えます。そのような行為を行った役員およびスタッフは、懲戒処分の対象となるとともに、法的処罰の対象となることもあります。ここに、全ての従業員が個人情報管理の重要性と責任を自覚し、個人情報保護方針を遵守して、信義に従い誠実に行動することを求めます。また、当法人は、この個人情報保護方針の円滑な運用を図るため、以下のような対策を講じます。

### 2.個人情報の取り扱いについて

当法人は、個人情報について、管理責任者を任命するとともに、当法人の個人情報保護に関する規定に従って適切に管理します。当法人は、当法人の役員および全てのスタッフに周知徹底させるため、計画的に研修などを行い、本方針の遵守状況などを定期的に点検して、適宜個人情報保護対策を見直し、維持・改善を図ってまいります。当法人は、個人情報の漏洩、改ざん、紛失、不正利用等を防止するため、不正アクセス対策、コンピュータウイルス対策等の適切な情報セキュリティの確保・向上に努めてまいります。当法人は、個人情報の利用につきまして、利用目的の範囲内で、具体的な業務に従って権限を与えられた者のみが取扱い、業務の遂行上必要な限りにおいて取り扱うものとします。当法人の役員および全てのスタッフは、業務上知りえた個人情報の内容をみだりに第三者に開示し、または不当な目的に使用しません。当法人を退職後も同様とします。

### 3.個人情報の利用目的について

当法人は、当法人からの事務連絡、各種ご案内、アンケート、広告主の製品やサービスのご案内を目的として個人情報を利用します。上記以外の目的で個人情報をご提供いただく場合は、あらかじめ利用目的などをお知らせし、適切な範囲内で個人情報を収集します。

### 4.個人情報の取り扱いの委託について

当法人は、業務を委託するために第三者に個人情報を預託する場合、あらかじめ定めた基準に従い当該第三者について審査し、必要な契約を締結し、その他法令上必要な措置を講じます。

### 5.個人情報の開示、訂正、利用停止等のお問い合わせについて

当法人が保持するお客様ご本人の個人情報の開示、訂正、使用停止、消去等のご要望がありましたら、お問い合わせフォームからご連絡ください。

### 6.その他の事項

本方針は、当法人の日本国内における個人情報の取り扱いに関するものです。当法人のホームページにリンクしている他社における個人情報の安全確保については、当法人が責任を負うことはできません。重要な変更やお知らせ事項がある場合には、当法人ホームページ (<http://www7b.biglobe.ne.jp/~fourseason-kagayaki>) にてお知らせします。当法人では、個人情報の保護をよりよく行うために、または関係法令の変更などの理由で個人情報保護方針を改訂することがあります。

2021年4月 一般社団法人フォーシーズンかがやき

代表理事 工藤 亮

個人情報保護管理責任者 森 政夫



## 一般社団法人フォーシーズンかがやき 個人情報保護規程

### 第1条（目的）

一般社団法人フォーシーズンかがやき（以下、本法人という。）は、個人の尊厳を最大限に尊重するという基本理念のもと、個人情報の適正な取り扱いに関して、「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令等を遵守する。

### 第2条（利用目的の特定）

1 本法人が個人情報を取り扱うに当たっては、その利用目的をできる限り特定する。

2 本法人が取得した個人情報の利用目的を変更する場合には、変更前の利用目的と変更後の利用目的とが相当の関連性を有する合理的な範囲内になければならない。ただし、当該個人情報がプライバシー情報（私生活上の事実に関して一般的に公開を望まない内容の情報をいう。以下同じ。）を含む場合、利用目的を変更するには原則として本人の同意を必要とするものとする。

3 前項に従って個人情報の利用目的を変更した場合には、変更した利用目的について、本人に通知又は公表しなければならない。

### 第3条（利用目的外の利用の制限）

1 本法人は、あらかじめ本人の同意を得ることなく、前条に定める利用目的を超えて個人情報を取り扱ってはならないものとする。

2 前条又は前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合には、あらかじめ本人の同意を得ることなく、前条によって特定された利用目的の範囲を超える必要かつ合理的な範囲において、個人情報を取り扱うことができるものとする。

(1) 法令に基づくとき

(2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき

(3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき

(4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

### 第4条（取得に関する規律）

1 本法人が個人情報を取得するときには、その利用目的を具体的に特定して明示し、適法かつ適正な方法で行うものとする。ただし、人の生命、身体又は財産の保護のために緊急に必要がある場合には、利用目的を具体的に特定して明示することなく、個人情報を取得できるものとする。

2 本法人が個人情報を取得したときには、あらかじめその利用目的を公表している場合を除き、速やかにその利用目的を本人に通知又は公表するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合には、本人に通知または公表しなくてもよいものとする。

(1) 利用目的を本人に通知又は公表することによって、本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがあるとき

(2) 利用目的を本人に通知又は公表することによって、本会の権利又は正当な利益を害するおそれがあるとき



(3) 国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であつて、利用目的を本人に通知又は公表することによって、当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

(4) 取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められるとき

#### 第5条（個人データの適正管理）

1 本法人は、利用目的の達成に必要な範囲内において、常に個人データを正確かつ最新の内容に保つよう努めるものとする。

2 本法人は、取り扱う個人データの漏洩、滅失又はき損の防止その他の個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講ずるものとする。

3 本法人は、個人データを取り扱わせる本会の職員に対し、個人データの安全管理のために必要かつ適切な監督を行うものとする。

4 本法人は、個人データの取り扱いの全部又は一部を第三者に委託する場合には、当該第三者に対し、個人データの安全管理のために必要かつ適切な監督を行うものとする。

5 本法人は、利用目的に関して保有する必要のなくなった個人データにつき、6月を超えて保有することのないよう、確実かつ速やかに消去することとする。

#### 第6条（個人データの第三者提供の制限）

1 本法人は、次の各号のいずれかに該当する場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ることなく、個人データを第三者に提供しないものとする。

(1) 法令に基づくとき

(2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であつて、本人の同意を得ることが困難であるとき

(3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であつて、本人の同意を得ることが困難であるとき

(4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であつて、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

2 次に掲げる場合において、当該個人データの提供を受ける者は、前項の第三者に該当しないものとする。

(1) 本法人が利用目的の達成に必要な範囲内において個人データの取り扱いの全部又は一部を委託する場合。

(2) 合併その他の事由による事業の承継に伴って個人データが提供される場合。

(3) 個人データを特定の者との間で共同して利用する場合であつて、その旨並びに共同して利用される個人データの項目、共同して利用する者の範囲、利用する者の利用目的及び当該個人データの管理について責任を有する者の氏名又は名称について、あらかじめ、本人に通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置いている場合。なお、利用目的又は個人データの管理について責任を有する者の氏名若しくは名称を変更する場合には、変更する内容について、あらかじめ、本人に通知し、又は本人が容易に知り得る状態に置くものとする。

#### 第7条（保有個人データに関する事項の公表）

本法人は、保有個人データに関し、次に掲げる事項について、本人の知り得る状態（本人の求めに応じて遅滞なく回答する場合を含む。）に置くものとする。

(1) 本法人の名称



- (2) すべての保有個人データの利用目的（第4条第2項第1号ないし第3号に該当する場合を除く。）
- (3) 次条第1項及び第9条第1項の規定による求めに応じる手続
- (4) 本法人が行う保有個人データの取り扱いに関する苦情の申出先

#### 第8条（保有個人データの開示）

1 本法人は、本人から、当該本人が識別される保有個人データの開示（当該本人が識別される保有個人データが存在しないときにその旨を知らせることを含む。以下同じ。）を求められたときは、身分証明書等によって本人であることを確認した上で、本人に対して保有個人データを開示するものとする。ただし、開示することによって次の各号のいずれかに該当する場合には、その全部又は一部を開示しないものとする。

- (1) 本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- (2) 本法人の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- (3) 他の法令に違反することとなる場合

2 前項に定める開示の方法は、書面の交付による方法とする。ただし、あらかじめ、本人との間で口頭での回答による開示を合意によって定めている場合には、その方法によるものとする。

#### 第9条（保有個人データの訂正、追加、削除、利用停止等）

1 本法人は、本人から、書面又は口頭によって、開示に係る個人データの訂正、追加、削除又は利用停止を求められたときは、利用目的の達成に必要な範囲内において、速やかに必要な調査を行い、理由があることが判明した場合には、その結果に基づいて当該保有個人データの訂正、追加、削除又は利用停止等の措置を採るものとする。

2 本法人は、前項に基づいた措置を採ったとき、又は措置を採らない旨の決定をしたときは、本人に対して遅滞なくその旨（訂正又は追加した場合には、その内容を含む。）に理由を付して通知するものとする。

#### 第10条（個人情報保護管理者及び苦情対応）

1 本法人は、個人情報の適正な管理を図るため、個人情報保護管理責任者を定め、本法人における個人情報の管理に必要な措置を行うものとする。

2 前項に定める個人情報保護管理責任者は、森政夫理事とする。

3 本法人は、個人情報の取り扱いに関する苦情に適切かつ迅速に解決するため、苦情解決責任者を定め、本法人における個人情報に関する苦情に対応するものとする。

4 前項に定める苦情解決責任者は、森明子理事とする。

#### 第11条（職員等の責務）

1 本法人の職員等（ボランティア等の従事者を含む。以下同じ。）又は職員等であった者は、業務上知り得た個人情報の内容を第三者に漏洩し、又は不当な目的のために利用してはならない。

2 本規程は、個人情報保護を目的とした規程であって、本法人の職員等（ボランティア等の従事者を含む。以下同じ。）又は職員等であった者は、プライバシー情報の保護に関しても別途厳格に法令を遵守するよう努めるものとする。

2021年4月 一般社団法人フォーシーズンかがやき

代表理事 工藤 亮

個人情報保護管理責任者 森 政夫

苦情解決責任者 森 明子